



## 2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月7日

上場会社名 西川ゴム工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5161 URL <http://www.nishikawa-rbr.co.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)福岡 美朝  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)休石 佳司 (TEL) (082) 237-9371  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	15,741	△37.3	△920	—	△1,054	—	△1,163	—
2020年3月期第1四半期	25,125	5.5	2,172	13.8	2,355	1.0	1,427	△5.4

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 △3,247百万円 (—%) 2020年3月期第1四半期 △39百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△59.45	—
2020年3月期第1四半期	72.92	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	96,975	62,184	59.6
2020年3月期	103,843	66,001	59.0

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 57,764百万円 2020年3月期 61,260百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年3月期の配当予想については、今後の業績動向等を勘案しつつ慎重に検討しており、現時点で未定としております。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	31,900	△35.6	△1,300	—	△1,000	—	△700	—	△35.75
通期	73,300	△24.6	△1,000	—	△400	—	△300	—	△15.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	19,995,387株	2020年3月期	19,995,387株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	416,955株	2020年3月期	416,955株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	19,578,432株	2020年3月期1Q	19,578,432株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2020年4月1日から2020年6月30日）における我が国経済は、世界規模で拡大し続けている新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響を受け、感染への懸念から不要不急の外出を控えるなどの動きが広がり、様々な分野の生産活動や消費活動に波及し、景気が大幅に下振れいたしました。緊急事態宣言の全面解除を皮切りにようやく経済活動が再開し始めたものの、未だ国内経済は予断を許さない状況にあります。

自動車業界におきましても大きな影響を受け、自動車需要の大幅な減少により、世界の自動車生産台数は前年同期比で減少しました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績は売上高15,741百万円（前期比37.3%減）、営業損失920百万円（前年同期は営業利益2,172百万円）、経常損失1,054百万円（前年同期は経常利益2,355百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失1,163百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益1,427百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期連結累計期間末における総資産は、96,975百万円となり、前連結会計年度末と比べ6,867百万円の減少となりました。主たる要因は、受取手形及び売掛金が4,374百万円減少したことによるものです。

#### (負債)

当第1四半期連結累計期間末における負債合計は、34,791百万円となり、前連結会計年度末と比べ3,050百万円の減少となりました。主たる要因は、支払手形及び買掛金が2,780百万円減少したことによるものです。

#### (純資産)

当第1四半期連結累計期間末における純資産残高は、62,184百万円となり、前連結会計年度末と比べ3,817百万円の減少となりました。主たる要因は、為替換算調整勘定が1,909百万円減少したことによるものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予測につきましては、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が世界中で拡大する中、当社グループを取り巻く関連業界、主要顧客においても感染防止対策による企業活動停滞ならびに、直近の設備投資が先送りされる動きなどが見られます。

当社でも新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響により、設備投資実行及び時期の見直しを実施しております。

詳細は、本日公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	30,958	29,580
受取手形及び売掛金	13,722	9,348
電子記録債権	2,191	1,567
有価証券	500	500
製品	2,616	2,462
仕掛品	951	994
原材料及び貯蔵品	2,172	2,188
未収還付法人税等	22	260
その他	1,377	2,153
貸倒引当金	△3	△1
流動資産合計	54,507	49,054
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,910	8,449
機械装置及び運搬具（純額）	11,135	10,660
その他（純額）	12,469	11,687
有形固定資産合計	32,514	30,797
無形固定資産		
その他	1,317	1,372
無形固定資産合計	1,317	1,372
投資その他の資産		
投資有価証券	14,298	14,450
繰延税金資産	693	819
その他	514	484
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	15,503	15,751
固定資産合計	49,335	47,921
資産合計	103,843	96,975

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,109	6,329
短期借入金	11,253	11,340
未払法人税等	539	226
賞与引当金	1,067	547
製品保証引当金	22	9
未払金	3,705	3,170
その他	4,099	4,714
流動負債合計	29,797	26,338
固定負債		
長期借入金	1,390	1,715
繰延税金負債	2,638	2,607
退職給付に係る負債	694	895
役員退職慰労引当金	30	14
長期末払金	2,183	2,183
資産除去債務	366	368
その他	741	669
固定負債合計	8,044	8,452
負債合計	37,841	34,791
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,364	3,364
資本剰余金	3,527	3,527
利益剰余金	49,504	47,948
自己株式	△424	△424
株主資本合計	55,972	54,417
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,082	5,250
為替換算調整勘定	1,638	△270
退職給付に係る調整累計額	△1,433	△1,632
その他の包括利益累計額合計	5,287	3,347
非支配株主持分	4,741	4,420
純資産合計	66,001	62,184
負債純資産合計	103,843	96,975

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	25,125	15,741
売上原価	20,012	14,288
売上総利益	5,112	1,453
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	1,012	660
給料及び手当	721	676
退職給付費用	15	18
その他	1,190	1,018
販売費及び一般管理費合計	2,939	2,374
営業利益又は営業損失(△)	2,172	△920
営業外収益		
受取利息	32	34
受取配当金	294	274
持分法による投資利益	39	—
助成金収入	—	290
その他	82	91
営業外収益合計	448	690
営業外費用		
支払利息	38	47
固定資産除却損	30	5
為替差損	91	591
持分法による投資損失	—	74
外国付加価値税等	74	6
その他	30	98
営業外費用合計	265	823
経常利益又は経常損失(△)	2,355	△1,054
特別損失		
固定資産除却損	4	0
特別損失合計	4	0
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	2,351	△1,054
法人税、住民税及び事業税	179	57
法人税等調整額	442	△124
法人税等合計	622	△67
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,729	△987
非支配株主に帰属する四半期純利益	301	176
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,427	△1,163

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,729	△987
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,858	168
為替換算調整勘定	62	△2,217
退職給付に係る調整額	47	△199
持分法適用会社に対する持分相当額	△19	△10
その他の包括利益合計	△1,768	△2,259
四半期包括利益	△39	△3,247
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△300	△3,104
非支配株主に係る四半期包括利益	260	△142



### (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大は、経済や企業活動に大きな影響を与える事象であり、今後の広がり方や収束時期等に関して先行きを予測することは困難であります。繰延税金資産の回収可能性の評価等の将来課税所得等の見積りを要する会計処理に際して、現在生じている国内外の経済活動の停滞は中期的に影響すると仮定しております。ただし、当該仮定は当連結会計年度末時点における最善の見積りであると判断しておりますが、想定以上に影響が長期化あるいは拡大した場合には、繰延税金資産の回収可能性の評価等、重要な会計上の見積りおよび判断に影響を及ぼす可能性があります。